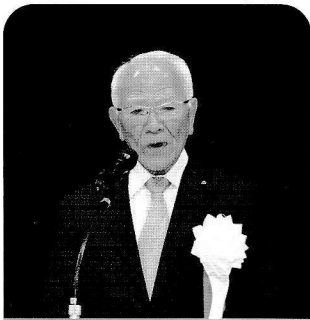


第65回 福山市公衆衛生大会

広島県民文化センターふくやま



挨拶 園尾俊昭会長

1月26日(金)、広島県民文化センターふくやまで第65回福山市公衆衛生大会が開催されました。推進委員の半数の参加枠を設けて、各学区の公衆衛生推進会長に呼びかけていただきました。

式典では、園尾会長のあいさつの後、町内の環境美化や環境保全及び

健康推進に多大な成果をあげられている、個人3名、公衆衛生委員10年勤続者8名に、その功績をたたえる、市長からの感謝状と記念品が贈呈されました。(2面に表彰者紹介)

次に、環境と健康のポスター・標語コンクールの優秀作品表彰式が行われ、福山市公衆衛生推進協議会の会長賞を受賞する児童・生徒一人ひとりに、会長から表彰状と記念品が手渡されました。

来賓あいさつの後、日常的な感染症の予防活動の推進、生涯にわたる健康づくりの推進、食育・フレイル予防などを通じた健康づくりの推進、脱温暖化のまちづくり、地球環境にやさしいライフスタイルづくり、献血運動の推進、「防災・減災・復興」に活かす公衆衛生活動の推進、活動資金募集の推進の、8項目により積極的に取り組むことを決議しました。

続いて、広島地方气象台調査官 熊原義正 様に、「備後地方(福山・神辺・府中)を中心とした気象の特徴と今後の予想について」と題して、講演をしていただきました。

气象台・気象庁の仕事は、地域の防災が第一で、JETT(防災対応支援チーム)を組織し、2014年の広島の大豪雨災害の時、線状降水帯のおこった様子と災害を防ぐためにどんな点を配慮したかなどのお話があり、今年1月の能登地震でも、チームを派遣して対応しているとのことでした。備後地域は、年間降水量が1000ミリ程度の雨の少ない地域です。

温暖化の原因となる二酸化炭素の観測所は、日本に3箇所あり、7人が5交代で24時間勤務であるなど、気象観測の仕方や内容について、説明がありました。TVなどの気象情報について、「昼前から雨でしょうは、何時から雨なのか?」昼前は9時から12時です。など、具体的に話されました。予報は3時間区切りだそうです。災害の予想なども、2024年6月からリニューアルされるそうです。気象庁のホームページの「キキクル」や「e-ラーニング」を上手に利用してほしいということでした。

目次

- 第65回福山市公衆衛生大会
・・・1～2ページ
- 特集 環境と健康のポスター・
標語コンクール
・・・3～6ページ
- ブロック・学区紹介
・・・7ページ
- 理事会、広島県公衆衛生大会ほか
・・・8ページ



公衆衛生活動に貢献し表彰を受けられた方々 (敬称略)

☆第65回福山市公衆衛生大会で、感謝状を受けられた方の紹介

個人の部

お名前	学区	表彰の理由
秋永 匠	道上	2010年頃から、毎月、道上小学校、交流館、幼稚園そして自宅近くの町内のバラ園のバラ花壇の手入れを継続し、美化活動に取り組むとともに、後継者の育成にも努力している。
坂本 弘	鞆	2009年4月から、町内会のごみステーションのごみの散乱や柵の破損などの清掃管理を行っている。毎日の散歩で、観光客や釣り人が浜に捨てたごみの収集をしており、地域住民の賛同を得ている。
渡壁 正勝	横島	2007年頃から、県道のガードレール側道から海へ続く花壇、広場等の空き缶・ペットボトル・ごみ拾いや草刈りを継続的に言い、島外から来られた方々も気持ちよく迎えるよう、島の環境づくりに貢献している。

公衆衛生推進委員 (10年勤続)

長谷川清信 (樹徳) 福永 匠己 (長浜)
 藤田 行徳 (手城) 大倉 博美 (松永)
 原 敬二 (大谷台) 戸田 新二 (有磨)
 三宅信太郎 (戸手) 河本 泰充 (戸手)



☆ 第64回広島県公衆衛生大会で表彰を受けられた方の紹介

県知事表彰

大和 智廣 (本郷) 村上 淳 (鞆)

広島県環境保健協会表彰

櫛川 良雄 (熊野) 福万 耕三 (戸手) 木藤 武士 (神村)
 門田 卓二 (西) 前市 正詔 (松永)

☆ 公衆衛生推進活動で、令和5年度善行市民表彰を受けられた方

岩井 信男 (千田) 金尾 富子 (光) 森近 元 (旭) 小林 英志 (神村)

大 会 宣 言

私たちは、永年にわたり自主的・組織的な実践活動をとおして、公衆衛生思想の普及向上に努めてきました。

しかし、今日、快適な健康生活を維持するうえで、地球温暖化やごみ等の環境問題、生活習慣病の増加など、深刻な課題に直面しています。

また、近年、気候変動により多くの自然災害が発生する状況に加え、新型コロナウイルス感染症という災禍を経験し、私たちの暮らしが大きく変わりました。

これからは、災害・災禍に対し、私たち住民組織が、何を果たすべきか改めて問われています。この役割を明確にして、地域の公衆衛生の向上に取り組むことが、これからの重要な活動テーマとなります。

私たちはこうした課題に積極的に対処しながら、心身ともに活力にあふれた健康で住みよい地域社会の実現をめざし、これまでも増して地域公衆衛生活動のリーダーとして、鋭意推進していく必要があります。

この大会を機に、改めて私たちは地域リーダーとしての自覚を再認識し、次の8項目についてより積極的・効果的に取り組むことを決議し、協働のまちづくりの理念の下に、情熱と英知を結集して力強く邁進することを宣言します。

- 1 日常的な感染症の予防活動の推進
- 1 生涯にわたる健康づくりの推進
- 1 食育、フレイル予防などを通じた健康管理の推進
- 1 あらゆる団体との連携による脱温暖化のまちづくりの推進
- 1 地球環境にやさしいライフスタイルづくりの推進
- 1 献血運動の推進
- 1 「防災・減災・復興」に活かす公衆衛生活動の推進
- 1 地区衛生組織活動資金募集の推進

2024年(令和6年)1月26日
 第65回福山市公衆衛生大会